

はばたけ 広島サンダーズ

久原 大輝

2シーズンにわたってサンダーズの「大砲」として左腕を振り続けてきたフェリペ・ロケ選手。ブラジルから海を渡り、初めての海外挑戦の場に日本、そしてサンダーズを選んだ決断は、チームにとっても大きな意味を持つものだった。

豪快なスパイクで得点を量産



🏐 一戦の雪辱と挑む選手とロケ

する一方、コート外では穏やかで思いやりにあふれた人柄が際立ち、チームメートの信頼も厚い。強固なブロックに加え、ミスの少ないサーブでも相手にプレッシャーを与え続け、攻守両面で欠かせない存在となった。

日本での生活も2年目を迎えて、日本語でのコミュニケーションも着実に成長。練習中には「もう一丁!」と声を張り、積極的にボールを呼び込む姿が印象的だ。基本的なあいさつも自然にこなし、チームに溶け込んでいた。

昨季は膝のケガでプレーオフ(PO)準々決勝に出場できず、チームに与えた影響は小さくなかった。結果、ウルフドッグス名古屋に敗れた。今季のPO準々決勝も同じ名古屋に決まり、2年越しの雪辱の舞台が整った。今季限りで退団するフェリペ選手にとって、この一戦に懸ける思いは計り知れない。一点でも多くともに戦い、より高みの景色へ。5月1日の第1戦に全てをぶつける。

(広島マネジャー)

サーブの前に集中するロケ選手(3月8日)